

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスバンビ（2単位 児童発達支援・放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和6年1月1日		～ 令和6年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19人	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	令和6年1月1日		～ 令和6年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13人	(回答者数) 12人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	本人の特性に合わせた環境作り（構造化）	個人の特性や能力に合わせた環境を設定することで、先の見通しや境界などが視覚的に分かりやすく、子どもが自立して課題に取り組むことができる環境になっている。	定期的にあセスメントを行い、お子さんや保護者の方の意見を聞く場を設け、子どもたちの成長に合わせた課題を設定し実践していく。
2	職員の専門性・一貫性のある支援の実施	パート職員も含めた外部講師による専門研修を行い、職員全体の資質を底上げし、共通の認識で支援できるように努めている。	引き続き外部講師による専門的な研修を受講し、職員のスキルアップを目指す。
3	小学校入学に向けた移行支援	小学校入学における課題、保護者の方の悩みやニーズをお聞きし、バンビで課題解決に向けたスキルを育み、ご家庭へその方法をお伝えし実践していただいている。また移行先の学校と好事例や特性について情報共有をしている。	連携の取れていない学校との情報共有を深めていく。

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園との交流が少ない	基本は園に通っているお子さんの利用のため、限られた時間の中で療育の機会を優先させていた。	受け入れ場所とのお願い・話し合いを行い、その機会を設定する。
2	兄弟への支援	今年度から兄弟への支援を充実させるように変更になっていたが、準備ができていなかった。	兄弟への支援のために来年度はその機会を設ける。
3			